



Copyright © 2025 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel GroupMail 2022 Winter からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2025-04-01	初版
------------	----

はじめに

本書の内容

本書では intra-mart Accel GroupMail のリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- intra-mart Accel GroupMail を利用したアプリケーション開発
- intra-mart Accel GroupMail 上で動作するアプリケーションの利用

本書に記載されている外部サイトのURL

本書内で記載されている外部URLは、2025-04-01 現在のものとなります。

用語解説

- intra-mart Accel GroupMail を 説明の都合上、一部 GroupMail と略している箇所があります。
- Operating System を OS と略します。
- intra-mart Accel Platform を iAP と略します。

intra-mart Accel GroupMail 2022 Winter からの変更点

追加機能概要

- intra-mart Accel Platform 2025 Spring に対応しました
- 管理用の各機能で、IM共通マスタで無効化されたユーザに関する情報を検索できるよう、検索条件を追加しました。
- メールメンテナンスと利用状況表示で条件を未指定で検索してしまうことを防止するためのシステム設定を追加しました。

システム要件

- サーバ要件
 - Windows Server 2012 を削除しました。
 - Windows Server 2012 R2 を削除しました。
 - Red Hat Enterprise Linux 7 を削除しました。
 - Windows Server 2019 を追加しました。
 - Windows Server 2022 を追加しました。
 - OpenJDK 21 (Red Hat製) を追加しました。
 - Oracle JDK 21 を追加しました。
 - Amazon Corretto 21 を追加しました。
 - Resin 4.0.67 に変更しました。
 - Oracle Database 23ai を追加しました。
 - PostgreSQL 11 を削除しました。
 - PostgreSQL 12 を削除しました。
 - PostgreSQL 16 を追加しました。
 - PostgreSQL 17 を追加しました。
 - Microsoft SQL Server 2014 を削除しました。
 - Microsoft SQL Server 2016 を削除しました。
 - Microsoft SQL Server 2019 を追加しました。
 - Microsoft SQL Server 2022 を追加しました。
 - Internet Information Services 8 を削除しました。
 - Internet Information Services 8.5 を削除しました。
- intra-mart Accel Platform
 - 「2018 Spring - intra-mart Accel Platform 2024 Autumn (Standard Edition, Advanced Edition, Enterprise Edition) 」 → 「2021 Winter - 2025 Spring 」 に変更

- クライアント要件
 - Windows 11 を追加しました。
 - Microsoft Edge 110 → 133 に変更しました。
 - Google Chrome 110 → 133 に変更しました。
 - iOS 15 以上 → iOS 17 以上、iPadOS 17以上 に変更しました。
 - Android 9.0 以上 → 10 以上に変更しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Red Hat Enterprise Linux 8 → Red Hat Enterprise Linux 9 に変更しました。
 - Resin 4.0.67 に変更しました。
 - Oracle Database 19c → Oracle Database 23ai に変更しました。
 - Oracle Database 19c → Oracle Database 23ai に変更しました。
 - PostgreSQL 14 → PostgreSQL 17 に変更しました。
- クライアント環境
 - Microsoft Edge 106 → 133 に変更しました。
 - Google Chrome 106 → 133 に変更しました。
 - iPhone 端末 iOS 15.6.1 → 18.1.1 に変更しました。
 - iPad 端末 iOS 15.6.1 → 18.1.1 に変更しました。
 - Android端末 Android 8.0 → Android 14 に変更しました。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【更新された制限事項】

- 更新された制限事項はありません。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

機能一覧

機能分類	PC版	スマートフォン版
一般ユーザ機能	メール表示	メール表示
	メール作成	メール作成
	メール作成プレビュー	—
	メール返信	メール返信
	メール転送	メール転送
	メール再利用	メール再利用
	メール送信取消	メール送信取消
	メール検索	メール検索
	メール受信	メール受信
	メール移動	メール移動
	メール削除	メール削除
	メール印刷	—
	フォルダ管理	—
	未読／既読切り替え	未読／既読切り替え
	個人設定	—
	振り分け条件設定	—
	エクスポート	—
	EML エクスポート	—
ポートレット	メール未読一覧	—
管理機能	利用状況表示	—
	メールメンテナンス	—
	ユーザ環境設定	—
	EMLエクスポートタスク管理	—
	利用状況表示（会社管理）	—
	メールメンテナンス（会社管理）	—
	ユーザ環境設定（会社管理）	—
	EMLエクスポートタスク管理（会社管理）	—

機能分類	PC版	スマートフォン版
ジョブ	メール削除	—
	添付ファイル削除	—
	データサイズ更新	—
	利用者環境設定情報エクスポート	—
	利用者環境設定情報インポート	—
	利用者環境設定情報一括削除	—
	添付ファイル保存位置是正	—
	EMLエクスポート	—
	期限切れ添付ファイル削除	—
	期限切れメール削除	—
	データサイズ更新	—
	ユーザ使用量更新	—

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
OS	Windows Server 2016
	Windows Server 2019
	Windows Server 2022
	Red Hat Enterprise Linux 8
	Red Hat Enterprise Linux 9
JDK	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
	OpenJDK 11 (Red Hat製)
	Oracle JDK 11
	OpenJDK 17 (Red Hat製)
	Oracle JDK 17
	OpenJDK 21 (Red Hat製)
	Oracle JDK 21
	Amazon Corretto 21
Web Application Server	Resin 4.0.67
	Payara Server 5.2020.2

種別	製品名
データベース	Oracle Database 19c
	Oracle Database 23ai
	PostgreSQL 13
	PostgreSQL 14
	PostgreSQL 15
	PostgreSQL 16
	PostgreSQL 17
	Microsoft SQL Server 2016
	Microsoft SQL Server 2017
	Microsoft SQL Server 2019
	Microsoft SQL Server 2022
Web Server （Web Server 利用時のみ）	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2016)
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2019)
	Internet Information Services 10.0 (Windows Server 2022)
	Apache HTTP Server 2.4 （DSO サポート版）



注意

intra-mart Accel Platform で使用する文字コードは、UTF-8 のみです。



警告

Microsoft SQL Serverは、性能・パフォーマンスに関する問い合わせが数多く報告されています。十分な検証とチューニングが必要です。

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter - intra-mart Accel Platform 2025 Spring （Standard Edition, Advanced Edition, Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IM-ContentsSearch を利用する場合
 - intra-mart Accel Platform の IM-ContentsSearch を利用する場合 のサーバ要件に準じます。

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアント タイプ
PC	PC/AT 互換機	Windows 10 / 11	Microsoft Edge 133以上	[PC]
			Google Chrome 133以上	[PC]
スマート フォン	iPhone端末	iOS 17 以上	Safari	[SP]
	iPad端末	iPadOS 17 以上	Safari	[PC・SP]
	Android端末	Android 10 以上	Google Chrome	[SP]



警告

各ベンダーより提供される、サーバ・クライアント製品のサポート終了に伴う、弊社製品の対応方針について

下記を参照してください。

参考：https://dev.intra-mart.jp/product_policy/（日本語）

Microsoft Windows 10 については、公式がサービスを終了するバージョンはサポート対象外です。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（日本語）

<https://support.microsoft.com/en-us/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>（English）



コラム

クライアント端末は32bit、64bitどちらも動作可能です。



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。

例えば次の組み合わせはサポートの対象外となります。ご注意ください。

- ・ Windows Server 2022 + Google Chrome （サーバOS上でのブラウザ利用） など



注意

PC端末におけるブラウザ画面内の操作は、キーボード入力、マウスクリックが対象です。

マルチタッチ/ペン入力対応のディスプレイによる、タッチ入力とペン入力は利用できません。

一部コンポーネントが正常に動作しません。



注意

2025-04-01 現在、iOSをサポートするバージョンは、iOS 17以上、 iPadOS 17 以上となります。



注意

Android端末は機種やブラウザの種類によって正常に動作しない場合があります。

弊社のサポート対象は、Google Chrome となります。Google Chrome 以外のブラウザでは動作保証しておりません。



注意

Androidタブレットはクライアント要件には含まれません。

特定機能の利用時に必要となるクライアント要件

IM-Noticeを利用する場合

種別	OS
PC	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。
iOS	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。
Android	intra-mart Accel Platform の IM-Noticeを利用する場合 のクライアント要件に準じます。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

サーバ環境

種別	製品名
OS	Windows Server 2022
	Red Hat Enterprise Linux 9
JDK	OpenJDK 21
Web Application Server	Resin 4.0.67
データベース	Oracle Database 23ai
	PostgreSQL 17
	Microsoft SQL Server 2022
Web Server	Apache HTTP Server 2.4
	Internet Information Services
	10.0
	(Windows Server 2022)

クライアント環境

ハードウェア	OS	ブラウザ	クライアントタイプ
PC／AT互換機	Windows10	Microsoft Edge 133	[PC]
		Google Chrome 133	[PC]
iPhone端末	iOS 18.1,1	Safari	[SP]
iPad端末	iPadOS 18.1.1	Safari	[PC・SP]
Android端末	Android 14	Google Chrome	[SP]

制限事項

共通

メールの差出人、宛先について

- メールの差出人と宛先のユーザ名・グループ名は、差出人の送信時のロケールでデータベースに格納しています。
そのためロケールを切り替えても変更されません。
- 差出人と宛先のロケールが異なる場合、宛先側が受信したメールの差出人と宛先のユーザ名・グループ名は、差出人の送信時のロケールで表示されます。
そのため返信時に宛先を追加した場合、宛先側のロケールでユーザ名・グループ名が設定されるので、返信メールの宛先はロケールが混在する場合があります。

メールの作成について

- メールを作成する場合、サイズの大きいファイルを添付して送信・保存を実行すると処理が遅くなり、成功メッセージとウィンドウを閉じるまでに時間がかかります。このとき処理の途中でウィンドウを閉じてても送信・保存は正常に実行されます。
- メール作成時にリンクの挿入ボタンを利用してリンクを作成する場合に、URLに空白が入ると自動的にエンコードされます。
「http://」や「file://」で始まるURLの場合は、リンクをクリックすると正しく遷移しますが、WindowsのUNC記法の場合は、パーセントエンコーディングはサポートされていないため、リンクをクリックしても正しく遷移しません。

メールの参照について

- メール本文のテキスト形式がプレーンテキストの場合、メールプレビュー、メール詳細の本文の単語の途中に改行が入ります。

認可について

- GroupMail のライセンスが与えられていなかったり、GroupMail の機能にアクセスする認可が設定されていないユーザでも宛先検索で選択し、メールが送信できます。
この場合、送信時点でエラーなどにはなりませんが、相手も読むことが出来る状態ではないため注意が必要です。

メッセージ通知について

- 他アプリケーションのメッセージ通知設定で「GroupMail」が「有」、「デスクトップ通知」が「無」と設定した場合、他アプリケーションからの通知が「GroupMail -メール一覧」に通知します。
ただし、GroupMail のメッセージ通知設定で「デスクトップ通知」が「有」と設定している場

intra-mart Accel Platform 2020 Spring で追加された新テーマ「Slim Side Menu」について

intra-mart Accel GroupMail では新テーマ「Slim Side Menu」に対応していません。

PC

メールの作成について

- メール作成時にプレーンテキストからHTMLに変更を行うと、連続した半角空白は1つを残して削除されます。
- メール個人設定の「メール作成・詳細表示」の設定が「ダイアログ表示」の場合、メール作成中に別のメールを返信するなどして新たにメール作成画面を表示しようとすると、既に開いているメール作成画面を使用して画面を開いてしまうため、複数のメールを同時に作成することは出来ません。
- テーブルを含むHTML形式のメールを返信や転送などをする際、個人設定でインデント文字を追加する設定にしていると、テーブル内の文字についても各行頭にインデント文字が追加されてしまいます。
- Google Chrome をご利用の場合、本文テキスト形式がHTMLの場合、本文の一番最後に入力したURLがリンクにならないことがあります。
- お使いのブラウザやPCによっては数百件以上などの大量の宛先を指定しようとするとうブラウザの応答がなくなることがあります。
これは組織、パブリックグループ、プライベートグループなどを使用して宛先をまとめて指定することで回避できます。

メールの参照について

- メール個人設定の「メール作成・詳細表示」の設定が「ダイアログ表示」の場合、メール詳細画面を表示中に別のメール詳細画面を表示しようとすると、既に開いているメール詳細画面を使用して画面を開いてしまうため、複数のメール詳細画面を同時に表示することは出来ません。

ブラウザについて

- 別画面表示で既存メールの編集集中に、既に添付されていたファイルをダウンロードしようとしてエラーとなった場合、通常はエラー画面に遷移しますが、Google Chrome を利用している場合はエラー画面に遷移しません。
- Google Chrome では、半角の長いフォルダ名のメール一覧を表示した場合、画面表示が崩れる場合があります。

印刷について

- 印刷ボタンはブラウザの印刷機能を使用しているため、ブラウザ画面に表示されている内容を印刷します。
メール詳細画面がダイアログ表示の場合、メールの内容のみ印刷することができないため、印刷ボタンを表示していません。

スマートフォン

メールの作成について

- ファイルの手動アップロード時、ファイル名変更のテキストボックスで「開く（実行、GO）」をタップした場合、FormのJSON文字列が表示されます。
この場合、ブラウザの「戻る」をタップすることで、メール作成画面に戻ります。

メールの参照について

- 画面表示内容が縦に長い場合、フッタが隠れる場合があります。
この場合、末尾まで下方向にスワイプすることで、フッタが表示されます。
- iOS で参照する際、メールの形式がHTMLで内容に横長のテーブルが使用されているなどした場合、表示しきれずに右側が切れてしまう場合があります。

ジョブ・ジョブネット

- データベースに OracleデータベースまたはMicrosoft SQL Server をご利用の際は「期限切れメール削除ジョブネット」、
および「無効メールの実データ削除ジョブネット」には実行パラメータ commit-count を必ず指定する必要があります。

- Oracle の場合：900 以下

- Microsoft SQL Serverの場合：2000 以下

指定方法等、詳細は管理者操作ガイドのジョブネット操作編をご確認ください。

API, リスナー等

リスナー（GroupMailSendOnlyListener 及び GroupMailSendContinueListener）

- Mail送信APIでBMP形式の画像ファイルを本文に設定すると画像が表示されない または 表示が崩れます。
- IM-共通マスタにないメールアドレスが送信者である場合、送信エラーになる場合があります。
送信エラーを回避するためには、そのメールアドレスを予めIM-共通マスタに登録しておく必要があります。

移行ツール

- 簡易宛先選択の表示件数の最大桁数はIM-社内便と GroupMail で異なります。
 - IM-社内便：3桁
 - GroupMail：2桁

そのため、IM-社内便の簡易宛先選択の表示件数が3桁の場合、移行後の GroupMail で個人設定画面を表示するとバリデーションエラーとなります。

- 署名の最大文字数はIM-社内便と GroupMail で異なります。
 - IM-社内便：255文字
 - GroupMail：250文字

そのため、IM-社内便の署名の文字数が251文字以上の場合、移行後の GroupMail で個人設定画面を表示するとバリデーションエラーとなります。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iag>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上